

駿台 中学部・高校部



医学部・東大・京大・難関大現役合格のための中学校入試が終わったらすぐ始めたいこととは

4月から中学に入学するみなさんは、中学入試を終えてほっと一息つきながらも、新学期からはじまる中学・高校での勉強を楽しみにしていることでしょう。中学からは自分の勉強方法を自分で見つけていくことが大切で、それが医学部や東大や京大などの難関大学への現役合格につながっていきます。どんな準備をしてどんな学びへと変えていけばいいのか、駿台中学部・高校部で進路アドバイザーも務める校舎長の先生方に伺いました。

意識の高い家庭は中学受験直後から通塾

——駿台中学部には、いつから、どのような生徒が通うのでしょうか。
柳井 教育への意識の高いご家庭の場合、中学受験が終わってすぐに通いはじめるケースが目立ちます。塾を通して合格した経験から、中学入学後も塾は必要だろと考える層が一定数いらっしゃるようです。

大西 駿台も含めて塾探しをしている教育熱心なご家庭は多いと感じます。第志願校に合格した子もいれば、中学受験のリベンジとして、6年後の志願校に合格した子もいれば、

大学入試を見据えて早めに通う子もいます。

山本 入学後しばらくしてから塾の必要性を感じ、通いはじめる生徒もいます。中高一貫校には成績優秀な学力の生徒が集まりますから、校内の成績を上げるには、学習面の強化が必要です。プロ講師の授業に加え、AI教材などICT教育が充実している駿台に魅力を感じていただいているのだと思います。

大西 中学受験で塾を利用してきたため、塾に通うこと大きな負担を感じておらず、スマーズに授業を受けています。中2まで最大でも英数2科目、週2日の通塾ですから学校との両立も問題ありません。

鈴木 新中1というところでは、準備講座には数学や英語に関して準備をして中学校に入学したい、という生徒が多く参加します。これには単純

に学習面でのアドバンテージになること、受験を終えて何も課題がない状態にしない、学習を継続させる意図もあります。

柳井 中高一貫校は学校ごとに教科書が違い進度もまちまちですが、駿台では同じテキストを使います。少人数の双方向授業ですから、授業中に他の生徒の学校の様子を聞くこともあり、様々な刺激をお互いに受けています。いろいろな学校の生徒と競争できるのは大きなメリットだと思います。

大西 中学受験で塾に通ってきたために、塾に通うこと大きな負担を感じておらず、スマーズに授業を受けています。中2まで最大でも英数2科目、週2日の通塾ですから学校との両立も問題ありません。

柳井 駿台中学部が新中1生通常授業を3月開講しているのは、中学からの勉強をしっかりと予習してもらいためです。準備講座からの参加であれば、2月から先取りでできます。中高一貫校は進度が早く、出端をくじかれるつづいていくのが難しくなります。また

きなり大量の宿題が出されても対応できる準備をしておかなければなりません。そんな意味も込めて、駿台では先取りでなく、塾という「居場所」がなくなることで心身のバランスを崩しやすくなります。

山本 中学入学前まで何もない、学習習慣が失われる事態ではありません。ただ、学習習慣が失われるだけではなく、塾という「居場所」がなくなることで心身のバランスを崩しやすくなります。

柳井 受け身ではなく、自分で知識をつかみ取っていく学習にシフトしていくことです。単に答えや解法パターンを覚える勉強から、なぜそぞなるのかを考えたり、プロセスを分析したり、批判したりといった学習に変えていくわけです。ノートの取り方までもそうしたスタイルに徐々に変えていくトレーニングの場でもあります。

——中学からの学びへは、何を変え

ていけば良いのでしょうか。

柳井 中学からの学びへは、何を変えていくかであります。

——居場所を確保すると同時に

学習スタイルの変化に対応

——先取り学習の意義について、もう少し詳しくご紹介ください。

——居場所を確保すると同時に

学習スタイルの変化に対応

——先取り学習の意義について、もう少し詳しくご紹介ください。

——居場所を確保すると同時に

学習スタイルの変化に対応

——先取り学習の意義について、もう少し詳しくご紹介ください。

——居場所を確保すると同時に

学習スタイルの変化に対応

——先取り学習の意義について、もう少し詳しくご紹

介ください。

——居場所を確保すると同時に

学習スタイルの変化に対応